



「図解 気象の大百科」

二宮洸三, 新田 尚,
山岸米二郎 共編
1997年, オーム社出版局,
628ページ, 本体9,500円

この本は、社会全体の気象に対する興味と関心の高まりを背景に、従来の一般向け入門書と教科書との間のギャップを埋めるべく、気象についての“通読できる事典”として出版されたものである。気象に関心を持つ市民、気象情報を有効に利用しようとする業者、理科教育の教材を必要とする教員、気象予報士をめざす人達、さらにすでに気象の仕事に携わる人間の知識の再確認など様々な活用を念頭に、多種多様な図を用いて、気象現象や気象学の世界を専門知識を持たない人にも理解できるように編集・執筆したものである。

内容は、①気象の世界へようこそ、②やさしい気象の基礎知識、③気象観測の基礎知識、④気象の予報の基礎知識、⑤気象から見た地球環境問題、⑥気象情報の応用・活用法の6編に分かれ、さらに各編は4～18章に細分されている。執筆者は、共編者の他、青木忠生・白木正規・花房龍男・羽鳥光彦・名越利幸の各氏である。

第1編はこの本の総説の意味も兼ねている。まず第1章は「気象の不思議さとおもしろさ」と題され、圧力の単位名となったパスカルの話から始まる。次に地球の平均温度がどのように決定されるかを、平面に置いた石で単純化したモデルの図と、温度差による対流の運動を水で置き換えた図で説明している。最初は初心者向けの本ではないかと思われるが、徐々に第2編以降を通読するために多少なりとも必要な知識が登場し、いわばこの本の入門編といえるものである。

第2編では気象学の基礎知識として、前半ではコリオリ力・大気鉛直構造・放射・水収支・熱収支などの理論が平易に説明され、中盤では総観規模現象、後半では大気大循環の理論と実態がそれぞれ解説されている。確かに数式は極度に控えられているが、前書きでうたう初・中等教育での活用にはいささか無理があると思われる。しかしながら逆に、大学でも一般教養はもとより専門初期の学生向け講義にも十分活用できるものである。

第3編では、現業での気象観測のための装置とその

方法が事細かに説明されている。地上・高層観測による多種多様の身近な要素の観測はもちろん、地上や衛星からのリモートセンシングについてもその原理から解説されている。第4編は、気象の予報についてその原理と現業の流れが事細かに説明されており、気象予報士をめざす人にも有用なものであろう。気象予報技術の歴史を記した部分は、読み物としての価値も兼ね備えている。

第5編では、マスコミ報道が先行し一般の人も含め多くの人が興味を持ちながらなかなか正しく理解されない大気汚染問題や、砂漠化・温暖化などのいわゆる地球環境問題の理解に欠かせない内容を述べている。これらの内容をここまで正確かつ一般の人にもわかりやすいように解説した記述は、この本の中でも特筆される点である。

第6編では気象情報、特に災害に関わる情報について、主に報道に対してどのような受け止め方が必要かが述べられているほか、自宅での気象観測や実験のすすめ、気象情報の入手法が書かれている。巻末の資料編は、日本の気象記録・日本と世界の気候図・雲形・台風について整備されており、また同資料編の気象官署・民間気象会社・気象情報提供サーバーの一覧表は我々研究者にとってもありがたいものである。

全体として、小スケールから大スケールまでの、また理論から応用までの、気象学・気候学のあらゆる分野を網羅しているといつて過言ではなく、これだけの内容を一般の人に理解してもらうにはやはりいささか無理がともなうような気がする。むしろ大学一般教養から専門前半クラスに最適な内容であると考えられる。また、我々研究者の専門知識の再確認や隣接分野の知識の吸収にも十分対応しうる。しかしながら“通読できる事典”とうたっているように、巻末の索引も8ページ約700項目と充実しており、また各記述の脇にはより詳しい解説または参考となる事項のページ数が掲載されているなど、百科事典としての体裁や使いやすさは完備されている。

この内容で本体価格9,500円とは破格と言って良いほどの安さで、気象学会会員には是非とも購入されるようお勧めする。学生会員にとっては即座に購入とはいかないかもしれないが、指導教官などをお願いして研究室に1冊常備しておけばよい。大きな書店などには置かれているようであるが、近くにない場合または売り切れの場合は、

で直接注文にも対応してくれるようである。

(筑波大学地球科学系 西森基貴)

新刊図書案内

表題	編著者	出版者	出版年月	定価	ISBN	備考
気象予報士試験模範解答と解説 平成9年度第1回	天気予報技術研究会	東京堂出版	1997.12	¥2,000	4-490-20334-9	
うずまきがいっぱい	木村竜治 花岡道子	岩波書店	1998.01	¥1,700	4-00-116325-X	
酸性雨と大気汚染	片岡正光 竹内浩士	三共出版	1998.01	¥1,500	4-7827-0349-X	
岩波理化学辞典第5版	長倉三郎	岩波書店	1998.02	¥11,000	4-00-080090-6	
気象業務の現状： 気象庁の公衆気象サービス	中井公太ほか	気象業務支援センター	1998.02	¥762		気象業務支援センター Tel. 03-5281-0440 Fax. 03-5281-0443
気象レーダー観測システム	福島晨次	気象業務支援センター	1998.02	¥1,048		気象業務支援センター Tel. 03-5281-0440 Fax. 03-5281-0443
図解雑学：気象のしくみ	オリンポス	ナツメ社	1998.02	¥1,200	4-8163-2371-6	
空の歳時記	平沼洋司	京都書院	1998.02	¥1,000	4-7636-1591-2	

注：表中で定価はすべて本体価格です。